

2026.5.12

報道関係者 各位

< 配信枚数 2 枚 >

～イマーシブ技術の社会実装を通じたウェルビーイングの向上と新たな価値創造を目指す～

学校法人立命館と株式会社博報堂が包括連携協定を締結

学校法人立命館(所在地:京都市中京区、総長:仲谷善雄、)と、株式会社博報堂(所在地:東京都港区、代表取締役社長:名倉健司)は、イマーシブ・リアリティ(没入型現実)技術の開発および普及を通じた社会課題の解決に向け、包括連携協定を締結いたしました。

■ 協定の背景と目的

サイバー空間(仮想)とフィジカル空間(現実)が高度に融合する「Society 5.0」の実現が進む中、先端技術が人の心身やコミュニケーションに与える影響を解明し、その成果を社会インフラとして実装していくことの重要性が高まっています。

本協定は、立命館大学が有する映像学、情報学、脳科学、スポーツ科学などの先端的な学術知見と、博報堂が培ってきた生活者発想とクリエイティビティ、さらには映像制作に関する豊富な知見を融合させるものです。両者の強みを掛け合わせることで、デジタル技術を日常生活における「心身の健康を支える要素」として再定義し、生活者一人ひとりが自分らしく心豊かに暮らすことができる「ウェルビーイング」な社会の実現に寄与することを目的としています。

■ 連携の拠点

本プロジェクトの拠点は、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)に新設された「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ(通称:CVIC(シービック))」です。

CVIC は、「身体圏」という新たな研究領域の創生を掲げ、多様な研究分野が交差・融合する学際共創ハブとして位置づけられています。仮想空間と現実空間の融合が人の活動やウェルビーイングに与える影響を科学的に検証するとともに、その成果を速やかに社会へ還元するための実証フィールドとして活用してまいります。

■ 協定に基づく主な連携事項

本協定に基づき、両者は以下の事項について連携・協力を進めます。

- (1) イマーシブ技術と人間科学の融合による、新たなヘルスケアコンテンツの研究開発
- (2) 産学官地の連携による、社会受容性の高い次世代インフラ化を目指したプロトタイプング
- (3) 最先端技術を活用した、未来を切り拓くイノベーション人材の育成
- (4) 地域課題の解決および新たな価値創出に資する実証実験・社会実装の推進

■ 今後の展開

両者は今後、CVIC を舞台とした共同研究や実証プロジェクトを本格化させ、教育、スポーツ、医療、エンタテインメントなど多領域における社会実装のモデルケースを構築してまいります。

また立命館は、共同研究や実証プロジェクトを教育活動とも接続し、学生が企業・研究者・地域と協働しながら課題解決に取り組む実践型の学びを推進します。学園が展開する一貫教育の強みも

生かし、次世代の社会変革を担う人材育成につなげるとともに、中期計画「学園ビジョン R2030」が掲げる「新たな価値を創造する次世代研究大学」の実現に向け、2030年の社会実装を見据えた長期的な視点で、技術が当たり前になり心身をサポートする「多重環境化社会」の構築を牽引していきます。

■立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ(CVIC)

CVICは、文部科学省の補助事業である令和6年度「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の採択を受けて整備された研究施設です。テニスコート2面分の広さを有する国内最大級の高度没入空間「クロスバースアリーナ」をはじめとしたXR環境、モーションキャプチャ、生理・生体、脳活動などを高精度で計測する最先端の研究設備を備えています。これらを組み合わせることで、XR環境が人間の身体・行動・認知や心理に与える影響を多角的かつ統合的に分析・研究することができ、XR技術の活用により誰もがやりたい姿を実現できるウェルビーイングな社会を目指します。

▼WEBサイト：<https://r-jpeaks.ritsumeai.ac.jp/facility/>

本リリースの配布先：草津市政記者クラブ、京都大学記者クラブ、 大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会
--

●協定内容についてのお問い合わせ先

立命館大学 BKC リサーチオフィス 担当：石川
TEL. 077-599-3247 Email.r-jpeaks@st.ritsumeai.ac.jp

●取材についてのお問い合わせ先

立命館大学 広報課 担当：中嶋・大森
TEL.075-813-8300 Email.r-koho@st.ritsumeai.ac.jp